

美しい日本、持続可能な社会をめざして、 都市自らが行動するアピール

人類の21世紀最大の課題は、持続可能な社会を脅かす地球温暖化等の環境問題であり、その中で日本が環境立国として果たすべき責務は重大である。

都市は基礎自治体として地域住民の生活に密接に関わっている。自然、風景、歴史など多様な地域性を有し、固有の環境の課題を持つ都市が足並みを揃え、地球環境問題の解決において果たすべき役割は極めて大きい。

全国の都市が「環境立市の志」を掲げ、美しい日本をめざし、持続可能な社会を構築するため、地球規模で考え、地域から行動することが重要である。

そのため、このフォーラムは「3つの行動指針」と「5の行動目標」を提唱する。

➤ 3つの行動指針

地球環境問題に取り組む「1億人の市民運動」実現に向けて、全国の市が一斉に提唱し、行動を起こす。

市民と共に計画し、市民と共に行動する。

先進事例に学び、自主的に取り組み、より高い目標へとレベルアップを図る。

➤ 5の行動目標

- 1 「全国不法投棄監視ウィーク」の創設
- 2 「夏はノー上着、冬はセーター重ね着」の実践
- 3 家庭ごみの減量・有料化の促進
- 4 「地産地消」の実践
- 5 「もったいない実践運動」の展開

平成17年7月5日

全国市長会

市長フォーラム「都市と環境」参加市長一同